

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和元年度 要望・回答
東日本旅客鉄道 中央本線

番号	要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強 1 輸送計画の改善			
(1)	運転本数の増加	平成29年3月のダイヤ改正において、高尾駅からの下り列車の運転間隔が均等化されたことにより、18時台においては運転間隔が20分以内の運転となっておりますが、その他の時間帯におきましても、利用者の利便性向上のため、20分未満間隔での運転を確保されるよう要望いたします。	<ul style="list-style-type: none"> ・運転間隔については極力均等化するよう努めていますが、中央線は速度の速い特急列車と速度の遅い各駅停車や貨物列車が混在して運転しているため、時間帯によっては特急列車の待ち合わせ等で、どうしても各駅停車の運転間隔が開いてしまう時間帯が発生しています。 ・20分未満の運転間隔にするためには増発を行う必要がありますが、データイムにおける高尾～大月間の乗車率は、概ね2～3割程度であることから、現在のところ増発の予定はありません。
(2)	直通電車の増発	<p>相模湖駅、藤野駅は、東京・横浜方面への通勤・通学客が多く利用しておりますが、一部の列車が高尾駅止まりのため、利用者は乗換えが必要であるなど、不便をきたしております。</p> <p>さらに、平成28年3月のダイヤ改正において、平日・土休日ともに、一部時間帯で運転本数が削減されたことから、朝夕の通勤・通学時間帯を中心に、上下線の高尾駅止まりの電車を直通電車にするとともに、増発されるよう要望いたします。</p>	<p><直通列車について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央線ではこれまで高尾以西から新宿・東京方面への直通運転の拡大運転に取り組んできました。 ・朝通勤時間帯は、高尾に6時台と7時台に到着する上り列車9本の内、6本を東京までの直通列車としています。 ・高尾止まり3本の列車についても、すべて同一ホームで中央快速線に乗り換えが可能な設定とするなど、ご利用しやすいダイヤ設定に努めています。 ・夜のお帰りの時間帯も、17時以降高尾から大月・甲府方面へ発車する列車21本のうち、平日は20本、土休日は18本の列車が直通列車または同一ホーム乗換えが可能なダイヤ設定となっております。 <p><増発について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤについてはお客さまのご利用状況等を勘案し、設定しています。 ・中央快速線三鷹駅到着時の朝通勤時間帯ピーク1時間の平均混雑率は170%程度であり、この混雑緩和を図るため最大限の列車を運転して輸送力の確保を行っています。 ・これに対し、高尾以西から新宿・東京方面に直通する列車における相模湖付近の混雑率は、平均60%前後です。 ・加えて、増発を実施するための車両の確保が困難な状況であることから、現在のところ増発の予定はありません。

番号	要望事項	要望内容	回答
(3)	中央本線・横浜線の相互乗入れ	<p>市町合併による相模原市域の拡大等に伴い、旧相模原市域と相模湖駅、藤野駅方面とのアクセス性向上が求められております。</p> <p>しかし、中央本線及び横浜線を利用するためには、高尾駅、八王子駅での乗換えが必要であり、大変不便な状況となっております。</p> <p>さらに、リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)が橋本駅付近へ設置されるとともに、相模原市においては、橋本駅・相模原駅周辺を中心として「広域交流拠点」の形成に取り組んでいることから、より利便性の高い広域交通網の整備に向け、中央本線及び横浜線の相互乗入れ運転を要望いたします。</p>	<p>・横浜線と中央線が直通運転をする場合、中央線及び横浜線の現行の運行体系を大幅に変更する必要があり、相互の線区の列車本数や編成両数の違いなどから、列車ダイヤに与える影響が大きくなることが予想されます。</p> <p>・中央線列車区間(高尾～大月間)のご利用者数については、横浜線沿線をご利用になるお客さまの数よりも、中央線新宿・東京方面に直通するお客さまのご利用数が多いことから現在のところ相互乗り入れの予定はありません。</p>
(4)	イベント開催時の臨時電車の運転	<p>相模原市で毎年8月1日に開催されるさがみ湖湖上祭花火大会には、横浜線方面からも大勢の来場者がおりますので、こうしたイベント開催時には、例年と同様、臨時電車を運転されるよう要望いたします。</p>	<p>・令和元年の相模湖湖上祭(花火大会)開催時には、中央線の高尾～相模湖間に上下各5本、高尾～大月間に下り1本、相模湖～大月間に下り1本の臨時列車を運転して輸送力の確保に努めました。</p> <p>・イベント開催時には臨時改札を設置するなど、駅においても対応を行っております。</p> <p>・横浜線と中央線を直通する臨時列車の運転については、使用する車両の違いのほか、中央線から横浜線に入る場合に、八王子駅のホーム番線が中線(3番線)に限定されることや、八王子駅発車後中央線の下り線を横切らなければならない等解決すべき課題が多々あるため、難しいのが現状です。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上 1 停車要望			
(1)	特急電車の停車	相模原市相模湖・藤野地域は、四季を問わず美しい森と湖をメインに大自然の移り変わりを満喫できる、都心から最も近い観光の拠点となっております。 ついては、観光客の利便性向上と地域の発展のため、相模湖駅及び藤野駅に特急電車を、1日に上り下り各1本停車されるよう要望いたします。	・中央線の特急列車は東京・新宿・立川・八王子と甲府・松本方面などの都市間をご利用になるお客さまの利便性や、停車駅を限定することで、速達性を考慮した設定としています。比較的都心に近い相模湖及び藤野駅に停車させると、特急列車の使命の一つである速達性を損なうことになるため、現在のところ停車させる予定はありません。
番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上 2 駅施設等の整備			
(1)	藤野駅ホームの屋根の増設	藤野駅は、平成4年度に、20mの屋根をホーム上に設置していただき、平成17年度には昇降設備設置にあわせ、昇降施設部分についても設置していただいたところですが、屋根延長が1両半程度であり、ホームの幅も狭いことから、降雨時等にはホームが大変混雑する状況となっております。 ついては、引き続き、ホーム屋根の延長増設に取り組まれるよう要望いたします。	・ホームなどへの上家については、中長期的な計画として乗降人員などを勘案し、順次整備を進めています。
番号	要望事項	要望内容	回答
III その他			
(1)	駅無人時間帯の有人化	現在、相模湖駅・藤野駅では、一部の運転時間において、改札窓口が無人となっており、利用者は事故等万一の事態への不安や不便を日々感じております。 ついては、高齢者、障害者等の移動制約者をはじめ、全ての利用者の安全性・利便性の向上の観点から、駅職員を終日配置されるよう要望いたします。	・駅社員の配置および対応時間はお客さまのご利用状況により決定しています。今後もお客さまのご利用状況などを勘案し検討を行ってまいります。 ・車椅子ご利用のお客さま、目の不自由なお客さま等へのご案内については前日までにご連絡をいただき対応を行っています。その際は、通常不在時間でも必要に応じて対応を行います。